

○ 第47回かび毒・自然毒等専門調査会

日時：平成29年3月23日（木）10：00～12：12

議事概要：

(1) フモニシンに係る食品健康影響評価について

- ・事務局より、妊娠ウサギの新たな知見、ヒトにおける知見、ばく露状況について説明がなされた。
- ・フモニシンのTDIについては、引き続き、もっとも低い用量で腎毒性がみられたラットにおける13週間亜急性毒性試験のNOAELに基づいて設定することとされた。

\*フモニシン：主にフザリウム属が産生するかび毒。

ウマで白質脳軟化症、ブタで肺水腫といった臨床症状を示し、ヒトでは神経管閉鎖障害との関係が示唆されている。